



03 水戸済生会総合病院

＼ 病院の概要 ／

開設	1943年6月
開設者	社会福祉法人 済生会支部茨城県済生会
院長名	生澤 義輔
病床数	472床
標榜科 (33科)	内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、救急科、循環器内科、糖尿病代謝内科、血液内科、病理診断科、ペインクリニック科、乳腺外科、消化器外科、緩和ケア科、腎臓内科、内分泌内科
医師数	96人
指導医数	42人
研修医数	20人
研修医の主な 出身大学	筑波大学、東京医科歯科大学、群馬大学、東京医科大学、弘前大学、新潟大学、琉球大学、杏林大学、昭和大学、島根大学、岩手医科大学 等
外来患者数	831.5人／日
入院患者数	307.6人／日

＼ 募集要項 ／

応募資格	2024年3月国家試験合格見込者
採用人数	10名(予定)
試験日程	2023年7月～8月に予定
選考方法	面接、小論文
処遇	■身 分：常勤医師 ■給 与：1年次基本給33万円 その他諸手当を含む年収約480万円 (時間外勤務手当は別途支給) 2年次基本給40万円 その他諸手当を含む年収約654万円 (時間外勤務手当は別途支給) ■社会保険：有り ■宿 舎：有り(住宅手当30,000円) ■その他：

病院見学 | 随時受入可(事前連絡必要)

病院見学対応状況

- 見学時間…随時(平日)
- 対象…全学年
- 宿泊…院内施設に宿泊可能(無料)
- 問い合わせ先
担当者：臨床研修センター 平根・廣木
TEL：029-254-5151
E-mail：resident@mito-saisei.jp
URL：https://recruit.mito-saiseikai.jp/entry



＼ 応募・問合せ先 ／

水戸済生会総合病院

〒311-4198 茨城県水戸市双葉台3-3-10
担当者：臨床研修センター 平根・廣木
TEL：029-254-5151
FAX：029-254-9099
E-mail：resident@mito-saisei.jp
URL：http://www.mito-saiseikai.jp/



- JR水戸駅、赤塚駅経由で双葉台3丁目(水戸済生会総合病院)行のバスが運行しています。バス利用の場合、水戸駅から約40分、赤塚駅より約15分です。
- タクシー利用の場合、赤塚駅より約10分、水戸駅より約25分です。

女性医師支援

初期研修医の妊娠・出産について
勤務体制を整えています。

保育園も完備して
います。



なでしこ保育園

一 研修プログラムの特色

- ・救命センターではドクターカー、ドクターヘリの運行により多種多様の救急症例(1次～2次～3次まで)を経験できます。
- ・周産期救急では隣接の県立こども病院との連携で切迫早産や多胎妊娠等異常分娩も多数経験できます。
- ・開業医と共同主治医となる開放型病棟では、共同診療、検討会、CPC などを通し病診連携と生涯学習のあり方等を体験できます。
- ・緩和ケア病棟ではその人らしさや、人の尊厳を見つめ直す機会を得ることができます。
- ・指導医は、医療教育にとっても熱心です。地域との協力でセミナーや検討会等の訓練の場が豊富にあります。

■ 研修スケジュール例

1年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内 科						救急科			外科	小児科	産婦人科
2年次	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	精神科	地域医療	選 択 科									

必修科：内科(24週)、救急科(12週)、外科(4～8週)、小児科(4～8週)、産婦人科(4～8週)、精神科(4～8週)、地域医療(4～8週)、外来研修(4週以上・並行研修)
選択科：院内および院外協力病院・施設での自由選択研修【内科、救急科、外科、小児科、産婦人科、麻酔科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科・呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、病理科、放射線科、精神科、地域保健、地域医療】

■ 専門研修の募集について

当院では、内科は基幹型で、それ以外の診療科は筑波大学などを基幹施設とするプログラムの連携施設として専門医研修を行うことができます。

当院の内科専門研修プログラムは、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、総合内科があり、神経内科や糖尿病代謝内科、膠原病内科は外来のみとなっていますが、当院が基幹病院として、近隣の病院に連携施設となってもらい専門医を養成します。

募集診療科	選考方法
内 科：基幹施設 小 児 科：連携施設(筑波大学、新潟大学) 産婦人科：連携施設(茨城県立こども病院) 皮膚科：連携施設(筑波大学) 眼 科：連携施設(筑波大学) 泌尿器科：連携施設(筑波大学) 整形外科：連携施設(筑波大学、新潟大学) 脳 外 科：連携施設(筑波大学) 形成外科：連携施設(筑波大学) 救 急 科：連携施設 (筑波大学、筑波メディカルセンター病院)	書類選考 および 面接

病院からメッセージ



臨床研修センター長(循環器内科)
研修責任者

千葉 義郎

初期研修の2年間は医学生の時とは異なり、「自分の興味や関心が何なのか?」「自分の医師としての役割は何なのか?」を真剣に探る時期と言ってよいのではないかと思います。

当院は救急から緩和医療、小児科、周産期と幅広くバランスのとれた医療を提供しています。また基幹型の内科専門プログラムを有しており、幅広い経験を通して自分の適性を見極め、1日も早く独り立ちしたい、臨床の現場でバリバリ活躍したい、と思っているあなたに絶好のチャンスを提供できる病院です。



研修医
逆井 拓実

3月まで医学生だった皆さんが、4月から研修医として病棟業務や救急対応・外来などに臨むのはハードルが高いと、誰しもが感じると思います。私もそうでした。しかし、指導医の先生方の丁寧かつ熱心なご指導もあり、研修するにつれてできることが次々に増えてきたのを実感しています。また、医療スタッフの方々も親切で雰囲気の良い病院だなと感じています。

研修医は1学年10人いるので、少なすぎて過度に忙しすぎることなく、また多すぎて仕事が回ってこないこともないと思います。時にまじめに、時に談笑して和気藹々としています。

当院はブログやinstagramもあります。研修医の様子が垣間見えるかと思うので是非ご覧ください。